

研究・調査報告書

報告書番号	担当
177	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Risk of pancreatitis according to alcohol drinking habits: a population-based cohort study. 飲酒習慣からみた膵炎リスク：地域集団を対象とするコホート研究より	
執筆者	
Kristiansen L, Grønbaek M, Becker U, Tolstrup JS.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Epidemiol. 2008 Oct 15;168(8):932-7. Epub 2008 Sep 8.	
キーワード	
飲酒、膵炎、信頼区間、国際疾病分類、疫学、デンマーク	
要旨	
<p>飲酒と膵炎の関係はすでに対照症例研究で研究されているがそのほとんどが男性である。酒別と飲酒パターンについて明らかにしたものは無い。この研究の目的は飲酒量、酒別、飲酒頻度と膵炎のリスクの関係を調べる事である。この目的の為に筆者は 1976-1978、1981-1983、1991-1994、2001-2003 年の Copenhagen City heart Study に参加した 17,905 名の男女のデータを用いた。飲酒量と共変量は質問紙で評価した。膵炎の情報は政府登録を用いた。結果は多い飲酒量は高い膵炎リスク関連していた。ハザード比 (95%信頼区間) は 0 杯/週と比較すると、1-6、7-13、14-20、21-34、35-48、48 以上/週はそれぞれ 1.1(0.8-1.6)、1.2(0.8-1.8)、1.3(0.8-2.1)、1.3(0.7-2.2)、2.6(1.4-4.8)、3.0(1.6-5.7)であった。男性と女性で関係は類似していた。飲酒頻度は膵炎の独立した要因ではないようであった。</p>	